

両沼地方稲作情報 号外

令和6年9月2日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所
" 金山普及所

(電話0242-83-2112)

(電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区



QRコード

会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

「両沼」+「稲作情報」で検索！

○刈取適期は平年より早まる見込みです。
○刈遅れに注意、適期刈取で高品質な玄米生産を！

■東北地方1ヶ月予報(8/31～) (8/29 仙台管区气象台発表)

○概況

- ・天気は数日の周期で変わります。
- ・平均気温は高い確率70%、降水量は平年並または多い確率ともに40%です。

○気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

気温	10	20	70
降水量	20	40	40
日照時間	30	40	30

(凡例) ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

■今年の特徴

- ・出穂期は平年並～やや早く、その後も高温で、成熟期は平年より早まる見込です。
- ・今後の風雨により倒伏が進めば、胴割れ等での品質の低下が懸念されます。
- ・成熟期の早まりと倒伏の懸念から「適期刈取」「刈り遅れ防止」が重要な年になります。

■刈取適期の判断

- ・「刈取適期」とは、ほ場全体の籾の80～90%が黄化する頃のことです。出穂後日数や積算気温(出穂後の日平均気温を積算した値)により、ある程度予測が可能です。
- ・刈取適期は大まかに出穂後40～45日頃となる場合が多いものです。
- ・出穂後日数、表1、及び裏面の表2により、刈取適期を予測し、最終的には、実際にほ場で生育中庸な株の籾の色を観察して判定します。
- ・今年は「会津まつり」を待たないで刈取を。その頃では同割れ発生が懸念されます・・・

■留意点

- ・出穂期の把握は重要です。表1の出穂期は一例であり、実際の出穂期は苗の状況・田植え日・活着の状況などで変わりますので、表2も併せてみてください。
- ・また平均均気温や日照量の平年との差の程度により、刈取適期はこの表より数日早まる・遅延することもあるので注意。
- ・また、品種特性により、適期となる積算気温の幅も変わるので注意を(表1参照)！
- ・刈取適期の予測と並行して、落水日の決定、機械・施設の点検など準備を進めましょう。

表1 品種別の出穂後の積算気温と刈取適期の目安

品種	出穂期 ※1	刈取適期の目安 (積算気温℃)	積算気温到達日(℃) ※2					
			950	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200
ひとめぼれ(坂下)	7月30日	950～1,050	9月3日	9月5日	9月7日			
天のつぶ(坂下)	8月2日	950～1,150	9月6日	9月9日	9月11日	9月13日	9月15日	
コシヒカリ(坂下)	8月3日	1,000～1,100		9月10日	9月12日	9月14日		
福、笑い(坂下)	8月6日	1,000～1,200		9月14日	9月16日	9月19日	9月21日	9月24日
ひとめぼれ(昭和)	8月2日	950～1,050	9月10日	9月13日	9月15日			
コシヒカリ(金山)	8月7日	1,000～1,100		9月19日	9月22日	9月25日		

(※1 出穂期 坂下：会津地域研究所作況試験、昭和・金山：普及所調べ)

(※2 積算気温 坂下：アメダス若松、昭和・金山：アメダス金山)

■参考：「8月7日が出穂期のコシヒカリ（平坦地）」の場合の判断例

- ①落水の判断：8月7日から30日後＝9月6日ごろとなる。
 ②出穂後日数による大まかな刈取適期予測→8月7日から40～45日後＝9/16～21となる

③品種ごとの積算気温による刈取適期を確認
 表1から、コシヒカリの刈取適期の積算気温は 1,000～1,100℃となる

④該当する積算気温の日付を確認
 表2から、1,000℃＝9/15、1,100＝09/20
 積算気温での刈取適期は9/15～9/20となる

⑤最終判断
 ②と④を参考に、実際にほ場で生育中庸株（水口や畦畔を除いた場所の平均的な生育の株）を観察し、籾の黄化率の推移を確認し、8～9割になる時期を予測し、最終的な刈取り日とする。



表2 出穂期ごとの積算気温による刈り取り適期の予測

	出穂期 (アダス若松)							出穂期 (アダス金山)		
	7/30 ~ 8/2	8/3	8/4 ~ 8/7	8/8 ~ 8/15				8/2 ~ 8/7		
各品種の出穂概況 (R6)	ひとめぼれ(平坦)							ひとめ (昭和)		
	天のつぶ(平坦)							コシヒカリ(金山)		
	コシヒカリ(平坦)									
	福笑い(平坦)									
	直ほコシヒカリ(平坦)									
刈取日	9/ 3	965	884	855	825	743	717	520	808	679
1	6	1,035	954	924	894	813	786	590	873	743
2	8	1,080	999	970	940	858	831	635	916	786
3	9	1,103	1,022	992	962	880	854	657	937	807
4	12	1,169	1,088	1,058	1,028	946	920	723	998	868
5	13	1,190	1,109	1,080	1,050	968	941	745	1,018	888
6	14	1,211	1,130	1,101	1,071	989	963	766	1,037	908
7	15	1,233	1,152	1,122	1,092	1,010	984	787	1,057	927
8	19	1,314	1,233	1,204	1,174	1,092	1,065	869	1,132	1,002
9	20	1,334	1,253	1,224	1,194	1,112	1,085	889	1,150	1,020
10	24	1,410	1,329	1,300	1,270	1,188	1,162	965	1,220	1,090
11	10/ 1	1,536	1,455	1,425	1,396	1,314	1,287	1,091	1,335	1,205

←図1 ひとめぼれの籾の黄化の様子
 ①②③：黄化率60～70% ④：黄化率90%
 ⑤：黄化率50%未満

■品種による登熟の特徴・留意点

- ・ひとめぼれ：2次枝梗が少なく登熟が良い反面、刈取り適期幅が狭い
- ・天のつぶ：穂軸が枯れずいつまでも青い。籾の黄化率で判定することが基本
- ・コシヒカリ：2次枝梗が多く、登熟に日数を要する
- ・里山のつぶ：穂発芽しやすいため、倒伏・刈遅れには特に注意が必要

■刈り遅れによる胴割れ等発生に注意！

・今年のように刈取適期が早まる場合や、倒伏が懸念される場合、また昨年のように土壌が乾燥し、土壌水分が少なく籾の乾燥が進みやすい場合などは、胴割れによる品質低下が懸念されます。**刈り遅れないよう十分注意しましょう。**

・また、福島県オリジナル品種である「里山のつぶ」は、穂発芽しやすいため、倒伏・刈遅れには特に注意が必要です。

■稲刈りが済んだら・・・

- ・稲わらの分解を促進させ、次年度作で「ガスわき」を抑えるため、石灰窒素や分解促進剤を散布し、気温の高い10月のうちすきこみましょう。
- ・稲わらの「野焼き」は行わないでください。
- ・**生産物や農業機械の盗難にはくれぐれも御注意を！**

秋の農作業安全運動展開中！（9/1～10/31）

- ・コンバインではほ場に入るときは傾斜や周囲の状況をよく確認しましょう
- ・共同作業は開始時によく打ち合わせを行いましょう
- ・機械点検時はエンジンを止めましょう